

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2010年5月16日現在

概況 オレゴン州の2010年5月16日に終る1週間の気象は、温暖・少雨の気象となった。Willamette Valleyの最高気温は75~78度Fとなり、平均気温は平年を2~4度F上回った。降雨の日は少なく1週間の降水量は0.10~0.25インチであった。NC地区の気温も上昇し最高気温は77~84度Fとなり、平均気温は平年を1~9度F上回った。1週間の降水量は0.15~0.35インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.6日(前週:4.7日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より改善し、近年に無い良い状態となった。農家は好天に恵まれ遅れ勝ちであった農薬散布を実施した。Washington郡の冬小麦にはflag leafが出だした。Valleyでは多雨な気象が続き、多くの冬小麦にleaf rust(赤さび病)が発生していると報告された。NC地区では週末に向かい気温が上昇、降雨があり冬小麦には有効であったが、多くの圃場にて更に雨を必要としていた。冬小麦の3%(昨年同期:8%、5年平均:12%)が出穂した。冬小麦の作柄は前週より評価が落ちた。春小麦の播種は略完了し、播種圃場の93%にて出芽した。出芽は昨年並びに5年平均より早めであった。2010年5月11日付けUSDAの冬小麦の収穫量予想では、オレゴン州の2010年産冬小麦の単位収量は59.0 bu/acre(昨年実績:56.0 bu/a)と予想され、収穫予想面積も増えたことより、生産量は昨年比約12%増の48,970,000 bushelsと予想された。

土壌水分(*)

(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	1	6	82	11
Last week	1	6	76	17
Subsoil	0	13	72	15
Last week	1	14	70	15

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	3	1	8	12

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	5	36	47	11
Last week	0	4	31	49	16

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	93	86	89	89

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years

2010年5月11日付けUSDA冬小麦生産予想

Crop	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/ac		Production 1,000 bushels		
	2009	2010	2009	2010	2008	2009	2010
Oregon	750	830	56.0	59.0	44,950	42,000	48,970
USA	34,485	31,786	44.2	45.9	1,867,333	1,522,718	1,458,350

以上